TOSTEM トステム株式会社

気象鳥　取付け説明書

●同梱されている取扱い説明書は必ずお施主様へお渡しください。

※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

※製品破損・落下による人への被害、物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。

■設置条件

・母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。
・本製品は木造住宅の2階以下に取り付ける設計となっております。3階以上の高所には取り付けないでください。
・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
・他社商品（バルコニー等）と組み合わせて設置しないでください。
・崖っぷちなどの高低差のある場所には設置しないでください。
・積雪地域には設置しないでください。
（特殊地域1500・3000形）

■躯体への固定

・母屋の構造材が入っている場所へ取り付けてください。プラグ類を使用してモルタル部分だけで固定することは、非常に危険ですから絶対に行わないでください。
・躯体に取り付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。

■部材の固定。

・組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■基礎について

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
基礎には海砂及び急結材を使わないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにご注意ください。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり養生期間中は重たいものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について

・アルミ形材が亜鉛ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■施工上について

・施工は専門業者が行ってください。
・水平・垂直・対角は水準器などで正確に測ってください。施工、開閉に支障がでるおそれがあります。
・当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
・強風（10m/s以上）の時、または突風が予想される場合は、必ずスクリーンを巻き取ってください。

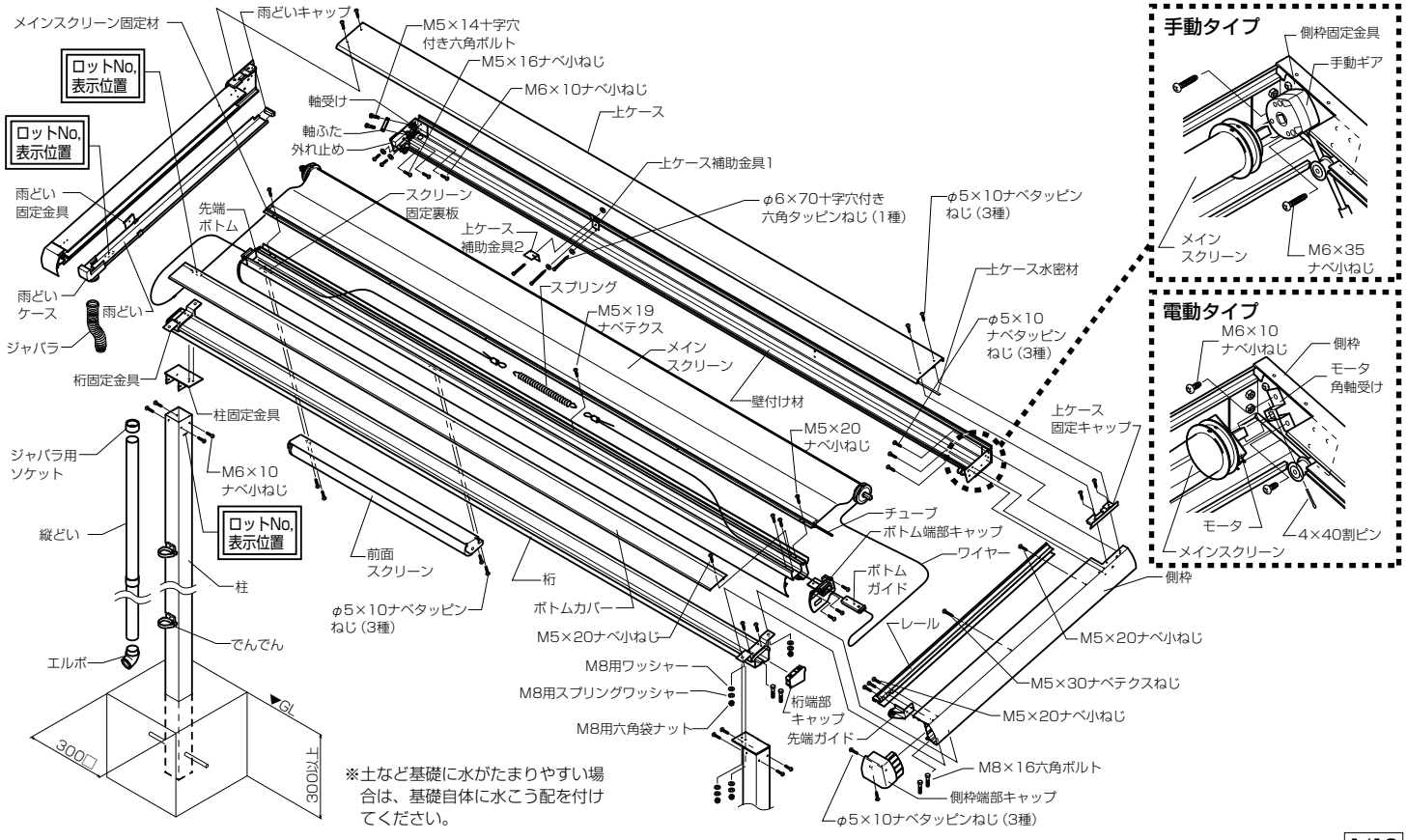
■施工完了時の注意事項

・ボルト及びねじ類に緩みやガタつき、その他使用上危険な個所などがないか点検してください。
・製品の外観に有害なキズ・ヘコミ等がないか確認してください。
・取扱い説明書に基づき製品の使い方（施錠・電装品の操作方法等）や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・シーリング指定個所には、必ずシーリング材を充てんしてください。

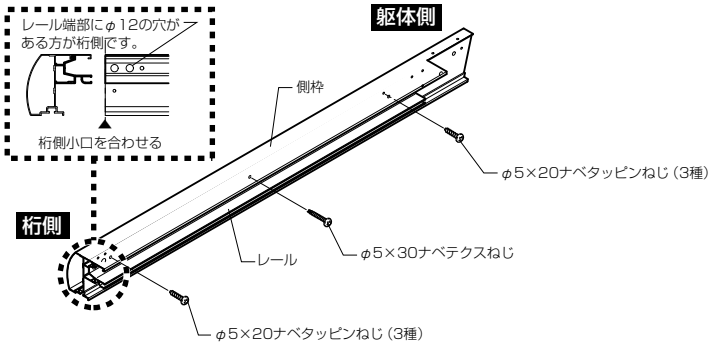
■構成図



■部材・部品の組立て

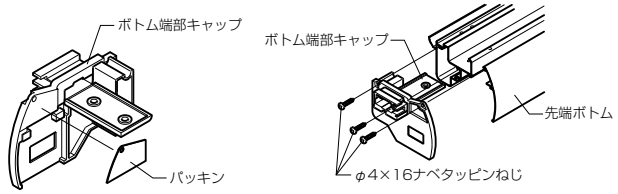
1 側枠とレールの組立て

①側枠にレールをはめ込み、レール両端をφ5×20ナベタッピンねじ（3種）で取り付けます。
②レール中間の加工穴に合わせて、φ5×30ナベテクスねじで固定します。
※側枠とレールは、桁側の小口を合わせて取り付けてください。

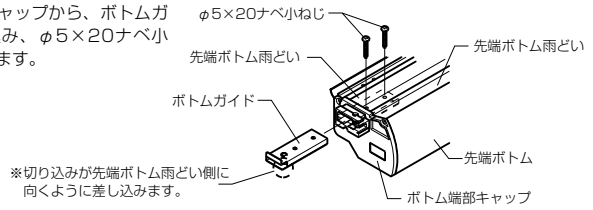


2 先端ボトムの組立て

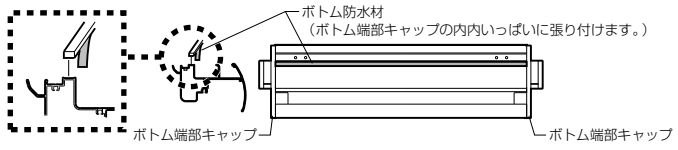
①ボトム端部キャップにパッキンを張り付け、φ4×16ナベタッピンねじ（2種）で、先端ボトムに固定します。



②ボトム端部キャップから、ボトムガイドを差し込み、φ5×20ナベ小ねじで固定します。

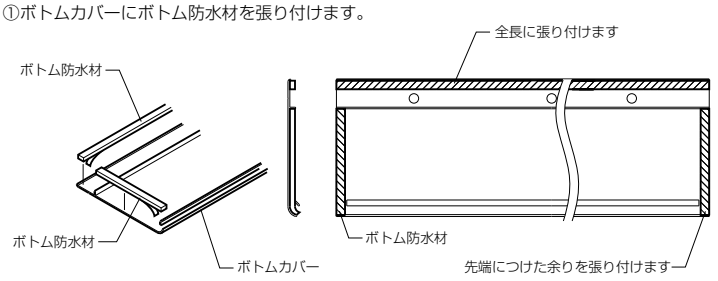


③先端ボトムにボトム防水材を張り付けます。



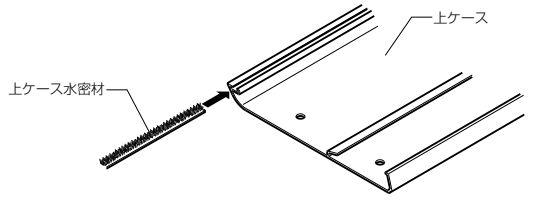
3 ボトムカバーの組立て

①ボトムカバーにボトム防水材を張り付けます。



4 上ケースの組立て

①上ケース水密材を上ケースに差し込み、上ケース部材の長さに合わせて切断します。

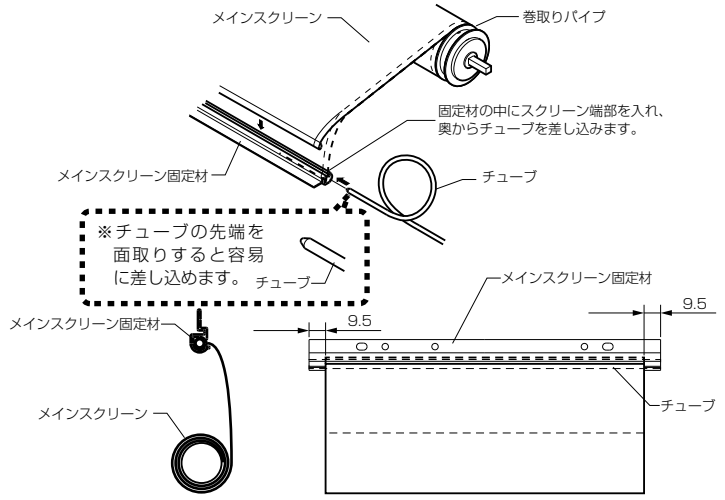


②上ケース水密材のフィン部の両端を切り欠きます。

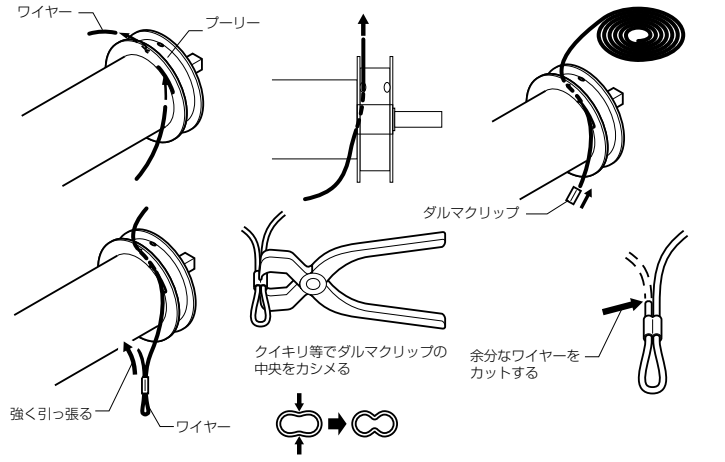
5 メインスクリーンの組立て

①メインスクリーンとメインスクリーン固定材をチューブで固定します。

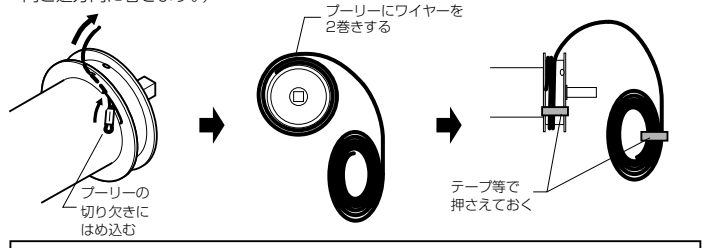
開閉操作側の変更
・巻取りパイプからいったんスクリーンを外し、巻取りパイプの左右を逆にしてスクリーンを取り付け直します。又、プーリーもいったん外して180°反転し、取り付け直してください。

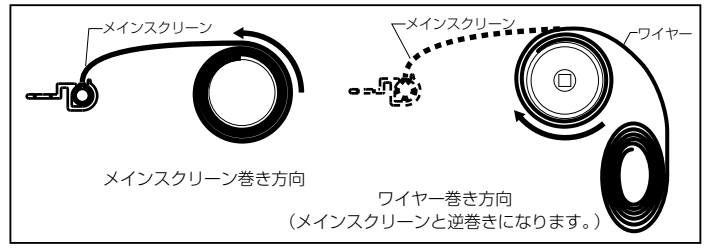


②メインスクリーンのプーリーにワイヤーを差し込みます。ワイヤー端部にダルマクリップをはめ込み、カシメた後、ワイヤー端部をカットします。



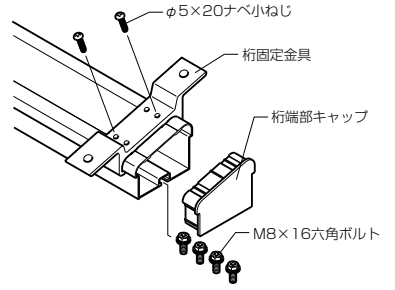
・ワイヤーを引っ張り、ダルマクリップをプーリーの切り欠きにはめ込んで、プーリーにワイヤーを2巻きし、テープ等で止めておきます。（ワイヤーはメインスクリーン巻き方向と逆方向に巻きます。）





6 桁の組立て

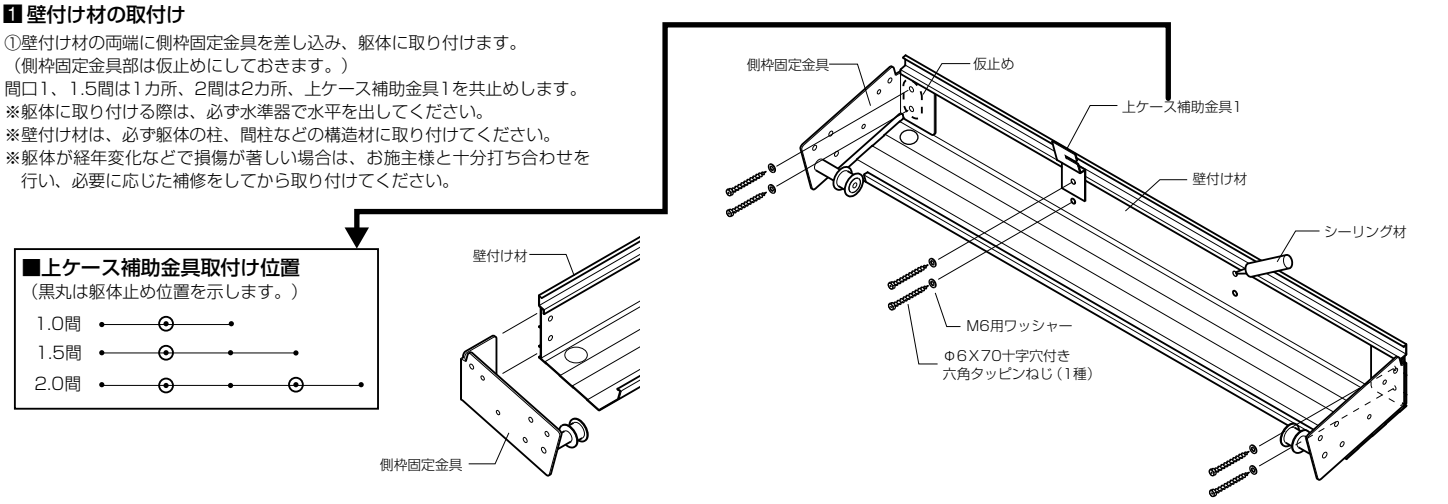
・桁端部から、桁固定金具をスライドして入れ、φ5×20ナベ小ねじでねじ止めします。
・M8×16六角ボルトをボルトホールに4本入れ、端部キャップをはめ込みます。



■取付け手順

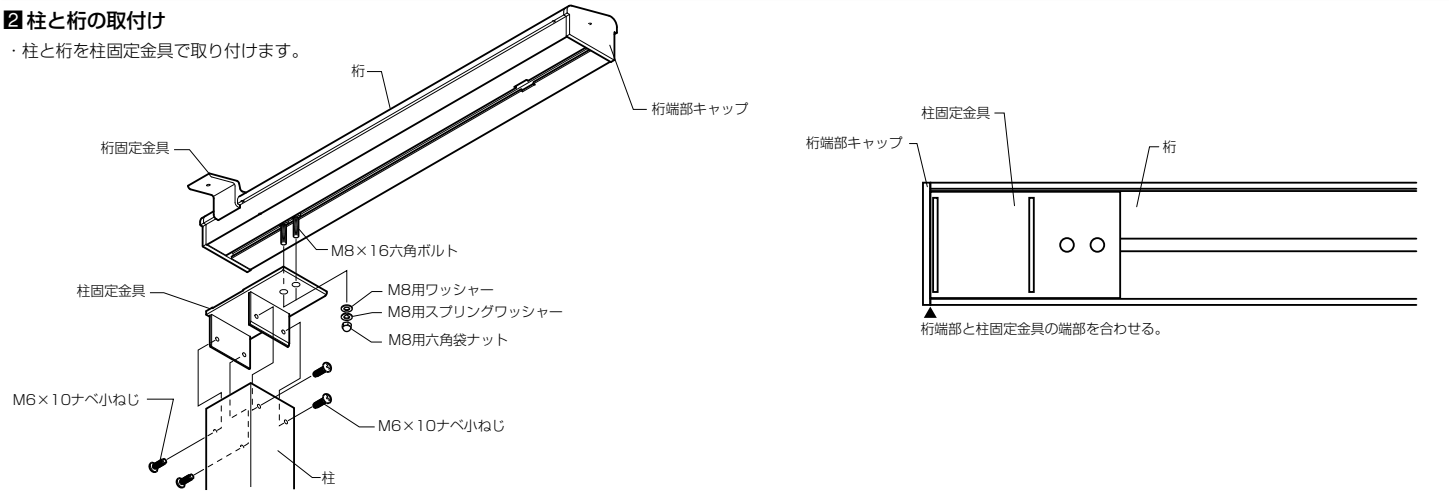
1 壁付け材の取付け

①壁付け材の両端に側枠固定金具を差し込み、躯体に取り付けます。
（側枠固定金具部は仮止めにしておきます。）
間口1、1.5間は1カ所、2間は2カ所、上ケース補助金具1を共止めします。
※躯体に取り付ける際は、必ず水準器で水平を出してください。
※壁付け材は、必ず躯体の柱、間柱などの構造材に取り付けてください。
※躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と十分打ち合わせを行い、必要に応じた補修をしてから取り付けてください。



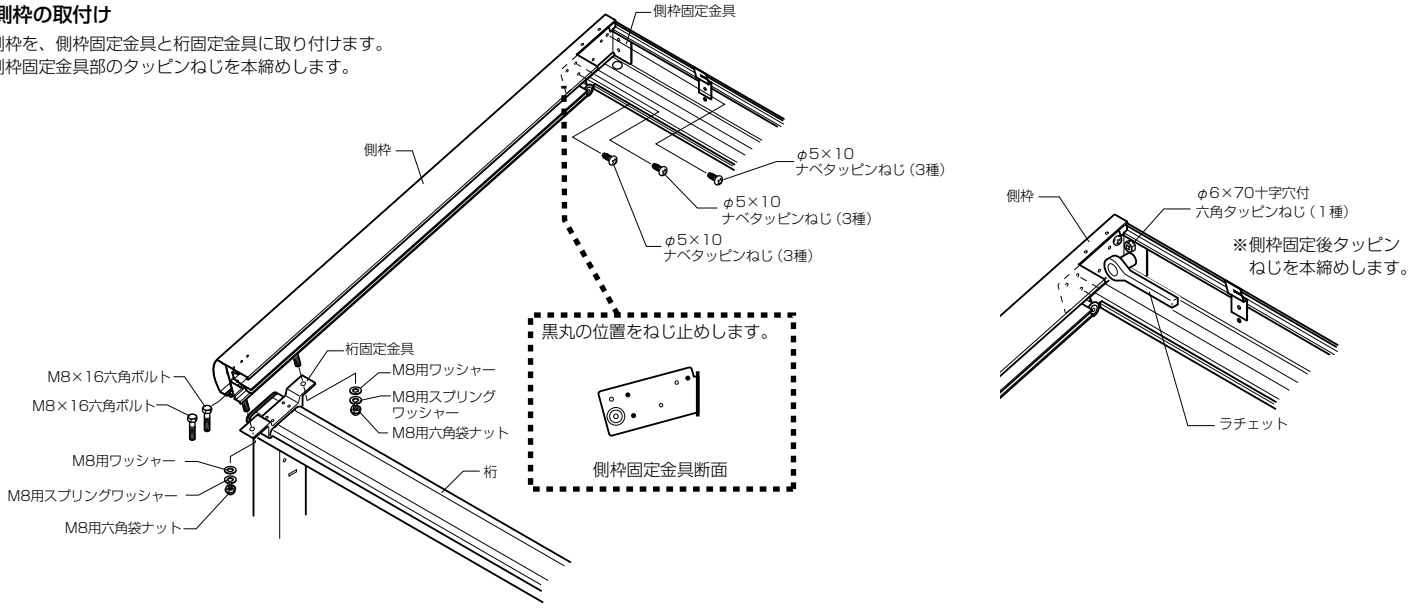
2 柱と桁の取付け

・柱と桁を柱固定金具で取り付けます。



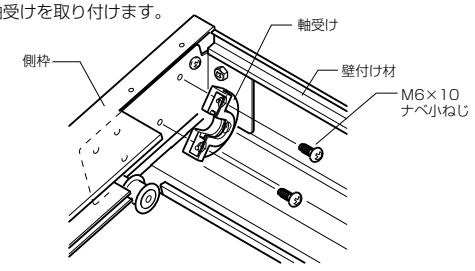
3 側枠の取付け

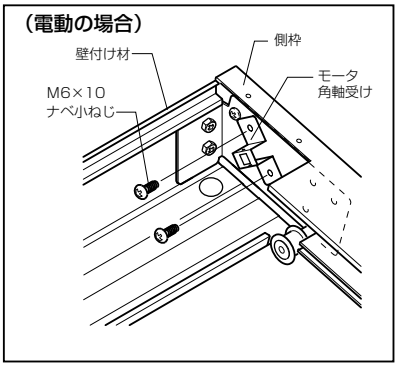
①側枠を、側枠固定金具と桁固定金具に取り付けます。
②側枠固定金具部のタッピンねじを本締めします。

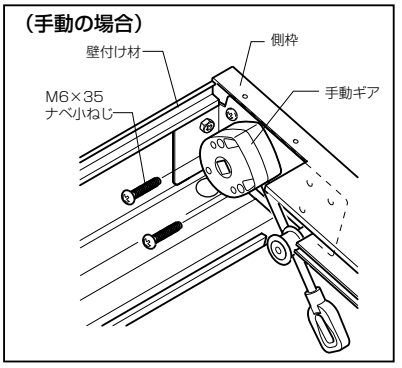


4 側枠固定金具への部品の取付け

①側枠固定金具に軸受けを取り付けます。
（標準は、外観左側に取り付けます。）
②反対側の側枠固定金具に、手動の場合は手動ギアを、電動の場合は
モータ角軸受けを取り付けます。





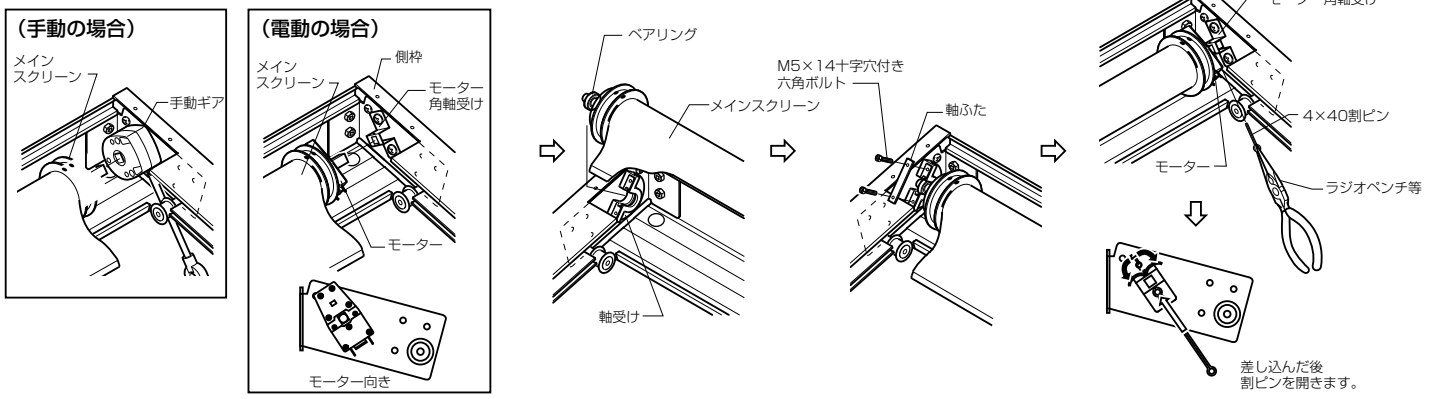


5 メインスクリーンの取付け

①メインスクリーンの角軸（手動）、又はモーター（電動）をそれぞれ手動ギア、モーター角軸受けに差し込んだ後、反対側のベアリングを軸受けにはめ込みます。

②軸受けに軸ふたをねじ止めします。

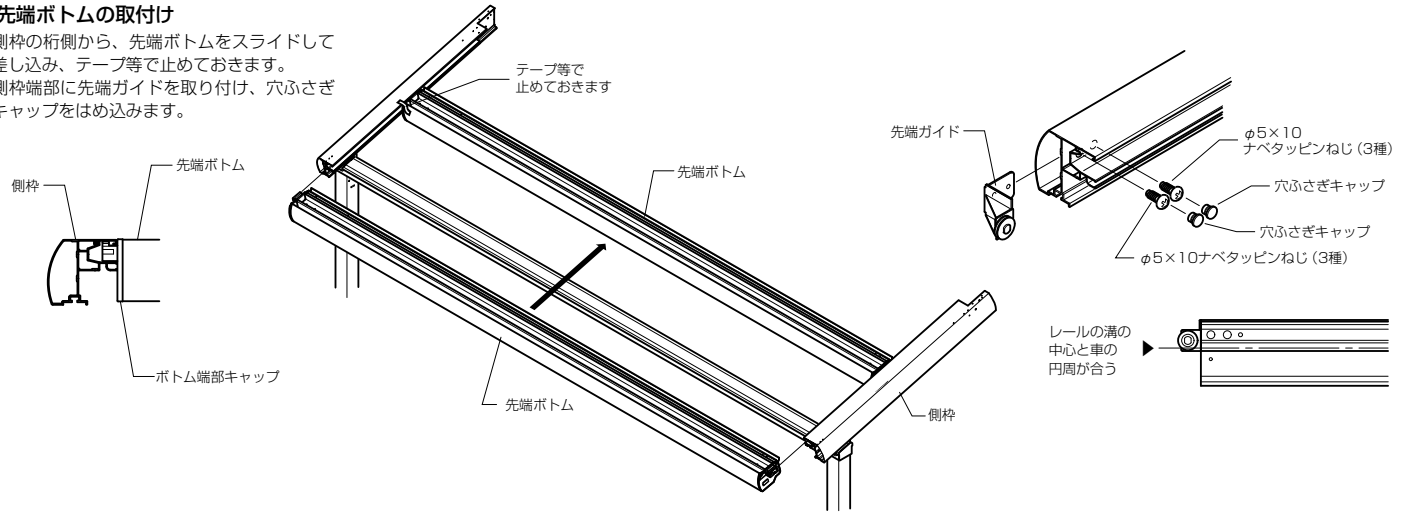
③電動の場合、4×40割ピンを差し込み、モーターを固定します。



6 先端ボトムの取付け

①側枠の桁側から、先端ボトムをスライドして差し込み、テープ等で止めておきます。

②側枠端部に先端ガイドを取り付け、穴ふさぎキャップをはめ込みます。



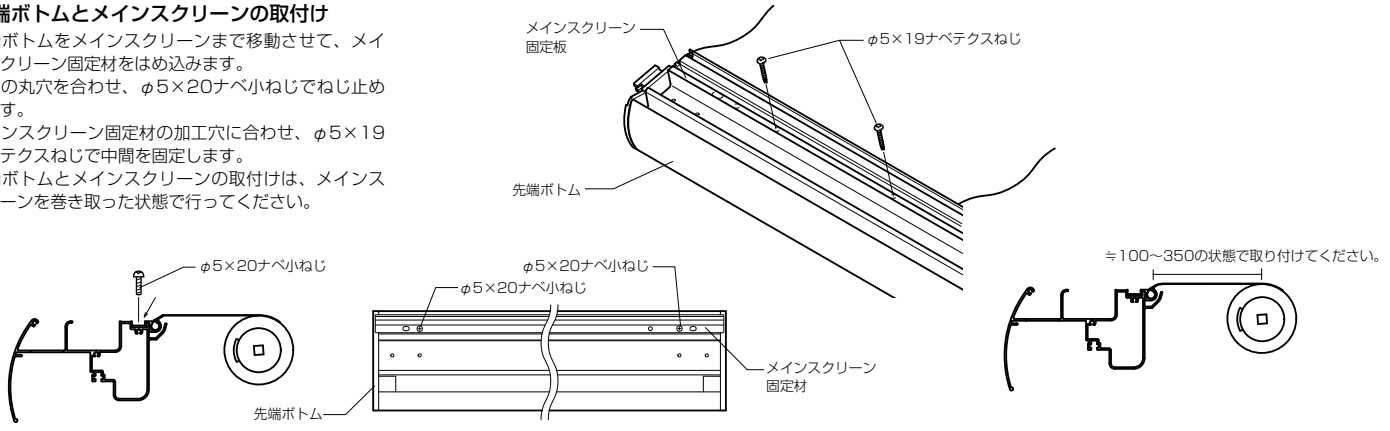
7 先端ボトムとメインスクリーンの取付け

①先端ボトムをメインスクリーンまで移動させて、メインスクリーン固定材をはめ込みます。

②両端の丸穴を合わせ、φ5×20ナベ小ねじでねじ止めします。

③メインスクリーン固定材の加工穴に合わせ、φ5×19ナベテクスねじで中間を固定します。

※先端ボトムとメインスクリーンの取付けは、メインスクリーンを巻き取った状態で行ってください。



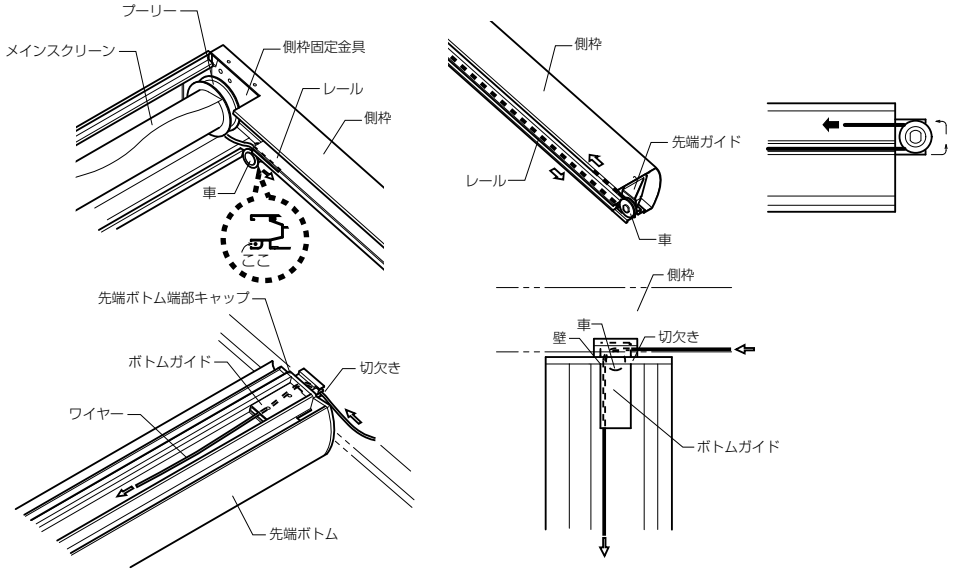
8 ワイヤーの取付け

①メインスクリーンプーリーに取り付けたワイヤーを側枠固定金具の車の上を通し、レールの溝に入れ込みます。

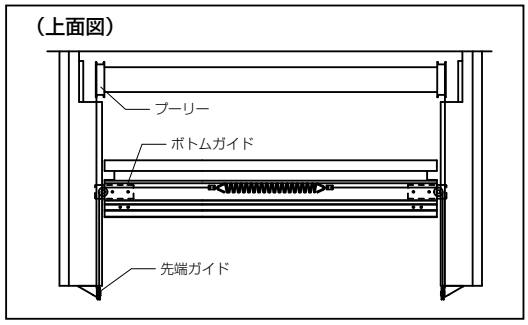
②ワイヤーをレール端部まで引いていき、先端ガイドの車に引っ掛けて折り返し、側枠に入れ込みます。

③ワイヤーを先端ボトムまで引いていき、先端ボトム端部キャップの切欠きに差し込み、90°折り返し、先端ボトム内部に差し込みます。（切欠きに差し込んだ後、ワイヤーをたわませてボトムガイドの奥の壁に押しつけるようにすると入ります。）

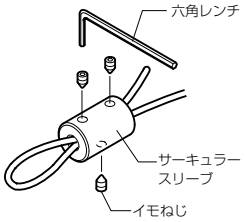
④反対側も同様にワイヤーを通します。



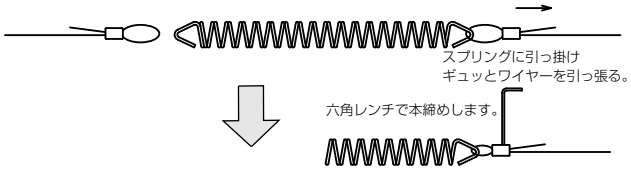
9 スプリングの取付け



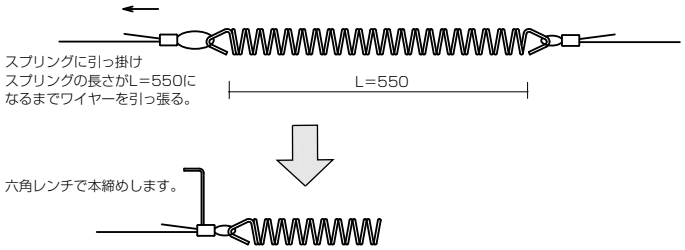
①ワイヤーにサーキュラースリーブを通して輪をつくります。（六角レンチで仮止めしておきます。）



②一方のワイヤーの輪をスプリングに引っ掛け、ギュッと引っ張った後、六角レンチで本締めします。

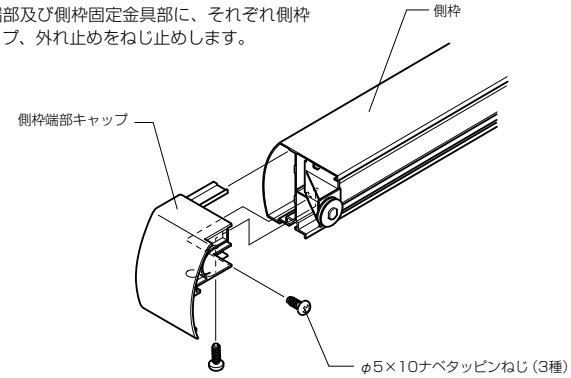


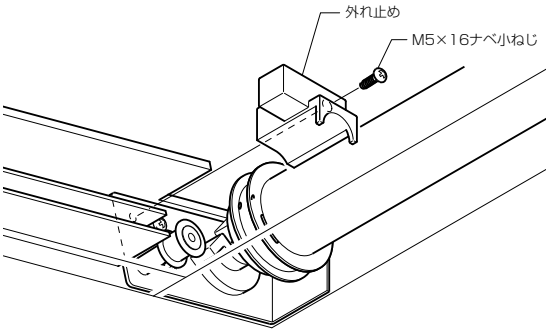
③もう一方のワイヤーの輪をスプリングに引っ掛け、ギュッと引っ張ります。スプリングの長さが550になったら、サーキュラースリーブを六角レンチで本締めして固定します。



10 側枠キャップ、外れ止めの取付け

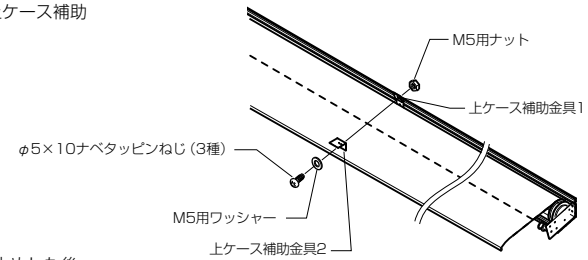
・側枠端部及び側枠固定金具部に、それぞれ側枠キャップ、外れ止めをねじ止めします。



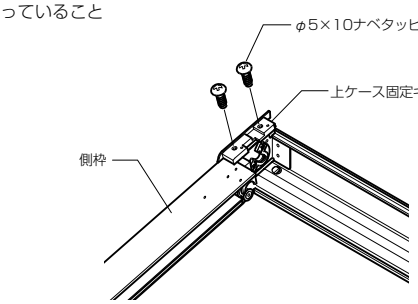


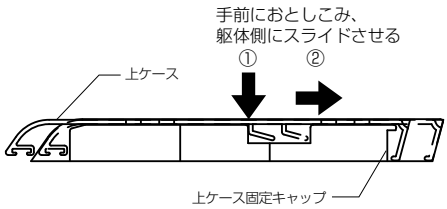
11 上ケースの取付け

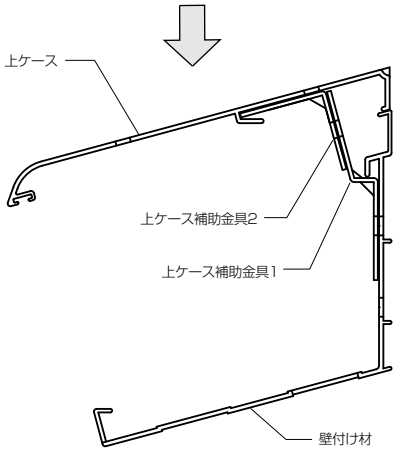
①壁付け材の上ケース補助金具1に、上ケース補助金具2を取り付けます。

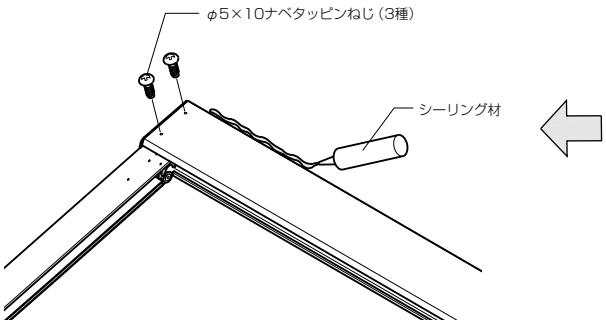


②側枠に上ケース固定キャップをねじ止めした後、上ケースをはめ込み固定します。
※上ケースと上ケース補助金具がはまっていることを確認してください。





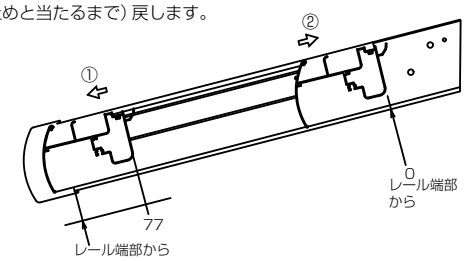




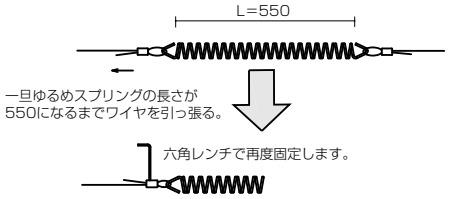
12スプリングの調整とボトムカバーの取付け

※枠の対角が出ているか確認し、調整してください。

①手動ギア又は、スイッチを操作し、先端ボトムを先端まで動かし（ボトム端部キャップが先端ガイドと当たるまで）、根元まで（ボトム端部キャップが外れ止めと当たるまで）戻します。



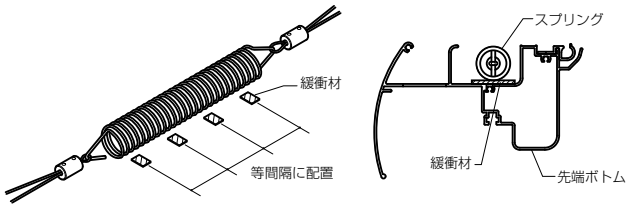
②一方のサーキュラースリーブをゆるめ、スプリングの長さが550になるまでワイヤーを引っ張り、サーキュラースリーブを締め直します。



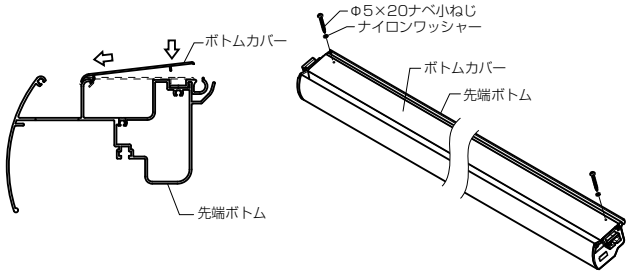
③この①②作業を5回繰り返します。

※スクリーンを動かす際は、ワイヤーがプーリー等から脱輪していないか確認してください。
※スプリングの調整は、先端ボトムを根元まで戻した状態で行ってください。
※スクリーンを動かす場合は周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナ等）がないことを確認してから行ってください。

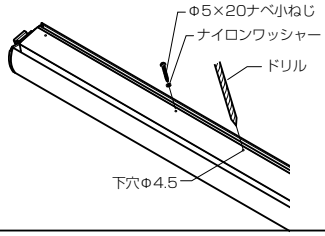
④スプリングの下に緩衝材を張り付けます。



⑤先端ボトムにボトムカバーをはめ込み、両端をφ5×20ナベ小ねじで固定します。



⑥ボトムカバーの加工穴に合わせ、先端ボトムにφ4.5の下穴をあけ、φ5×20ナベ小ねじで中間をねじ止めします。



13リミット調整

※リミット調整した範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

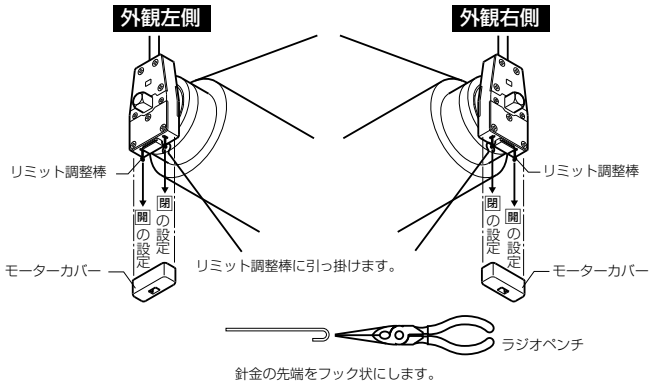
ー開く場合ー

①開のリミット調整棒に針金を引っ掛けて引っ張ります。
②調整棒を引っ張った状態で、電源を入れ、スイッチを入、切に操作して先端ボトムを止めたい位置で停止します。
③リミット調整棒をはなすとリミットが設定されます。
（この位置にくると自動停止します。）

ー閉じる場合ー

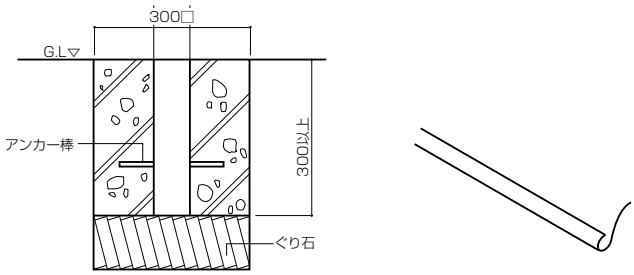
①閉のリミット調整棒に針金を引っ掛けて引っ張った後に上記作業を行うと、閉じる際のリミットが設定されます。

※作動確認を行い、リミット調整が正しく設定されていない場合は、上記作業をやり直してください。



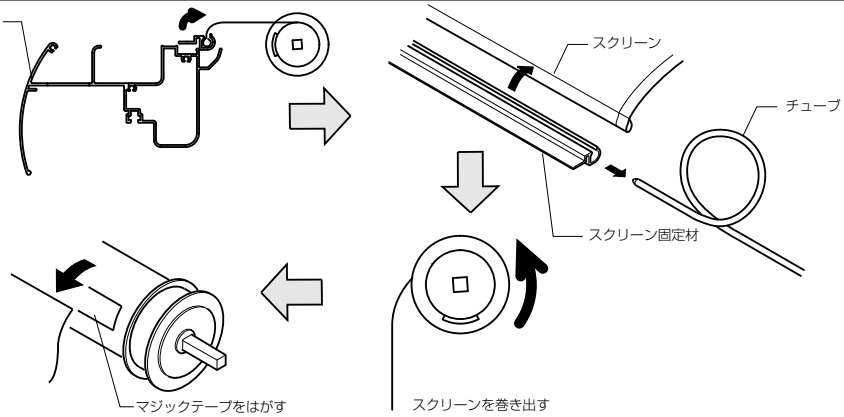
14 柱基礎

①柱埋込み穴をコンクリート（またはモルタル）で埋めてください。
※土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。
※地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
※コンクリート（またはモルタル）に急結材は絶対に使用しないでください。
※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。
※必ず水抜き穴をあけてください。



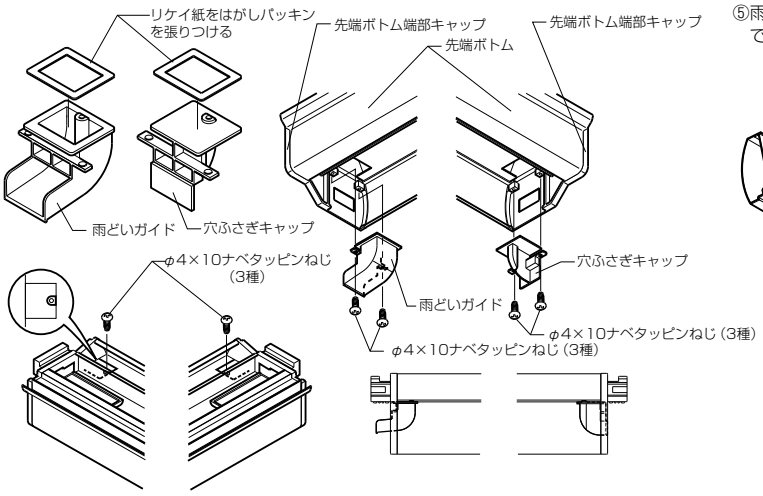
15 スクリーンの交換

①ワイヤーを外し、先端ボトムから、スクリーン固定材を取り外します。
②スクリーン固定材からチューブを抜き、スクリーンを外します。
③マジックテープをはがしてスクリーンを取り外します。
④新しいスクリーンを巻取りパイプに一直線になるようにマジックテープで取り付けます。
⑤スクリーン固定材にスクリーンをチューブで取り付けます。
⑥スクリーン固定材を先端ボトムに取り付けます。
⑦取付け順序の8～13を再度行います。

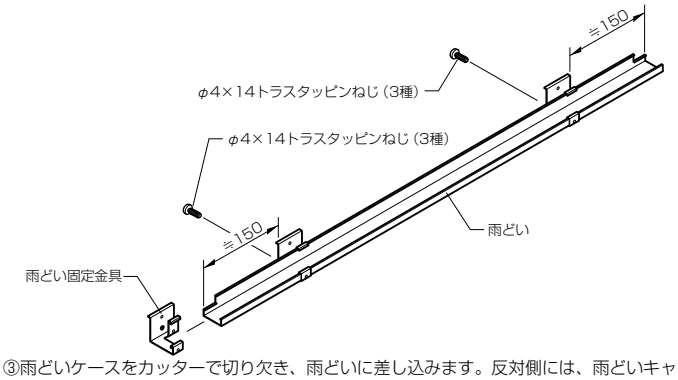


■雨どいの取付け

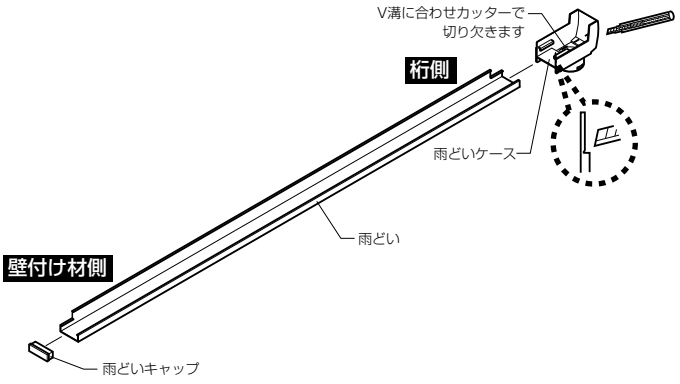
①先端ボトムの排水側に雨どいガイドを取り付け、反対側に穴ふさぎキャップを取り付けます。



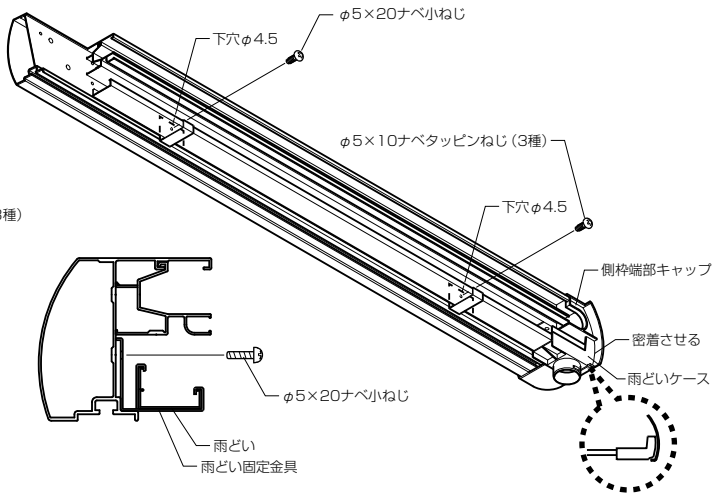
②雨どいに雨どい固定金具を差し込み、φ4×14トラスタッピンねじ（3種）で固定します。



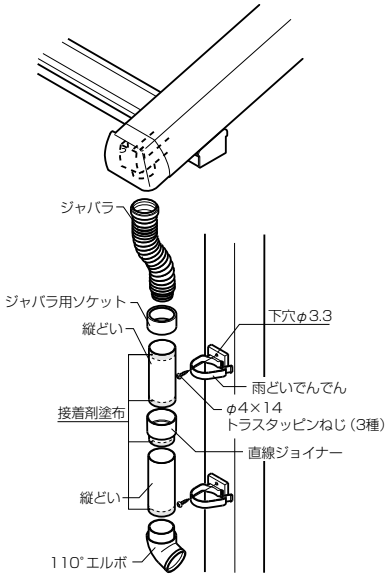
③雨どいケースをカッターで切り欠き、雨どいに差し込みます。反対側には、雨どいキャップをはめ込みます。



④雨どいを側枠にはめ込み、雨どいケースを側枠端部キャップに密着させます。
⑤雨どい固定金具の穴に合わせ、側枠にφ4.5の下穴をあけ、φ5×20ナベ小ねじで固定します。

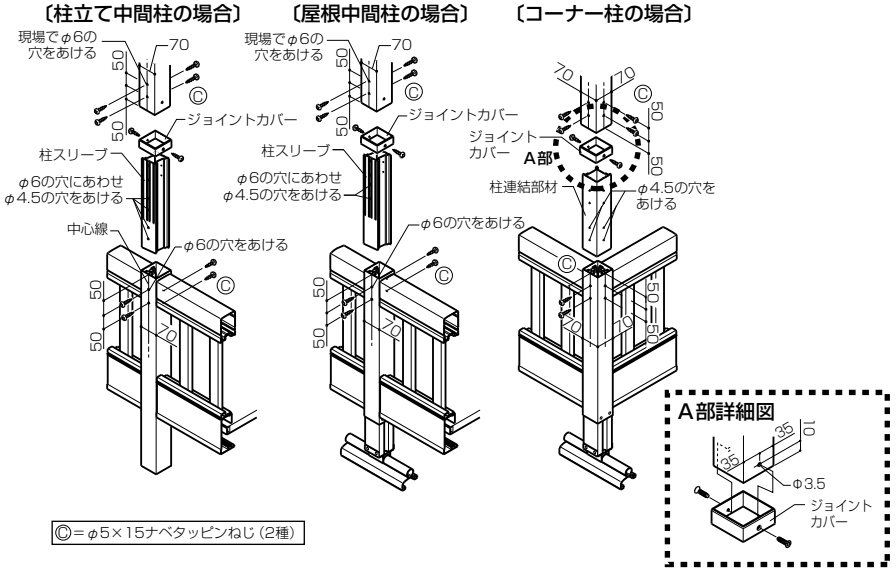


⑥ジャバラ、縦どいを取り付けます。



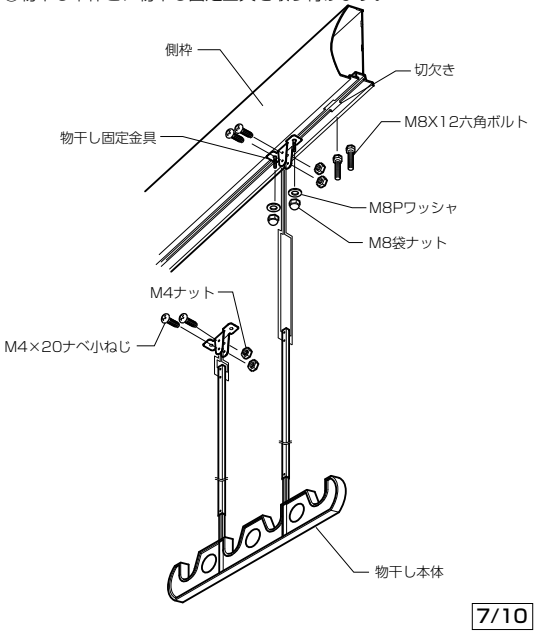
■バルコニー連絡の場合

①柱の切詰め加工
・現場実測で寸法を出し、柱を切り詰めてください。
②バルコニーとの連結
・連結図の要領に従い、柱を連結してください。



■物干しの取付け

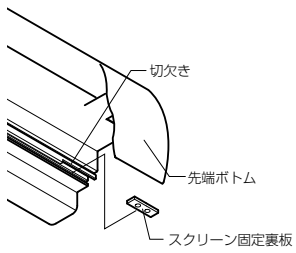
①側枠の切欠きから、M8ボルトを差し込み、物干し固定金具を取り付けます。
②物干し本体と、物干し固定金具を取り付けます。

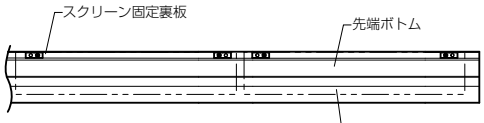


■前面スクリーンの取付け

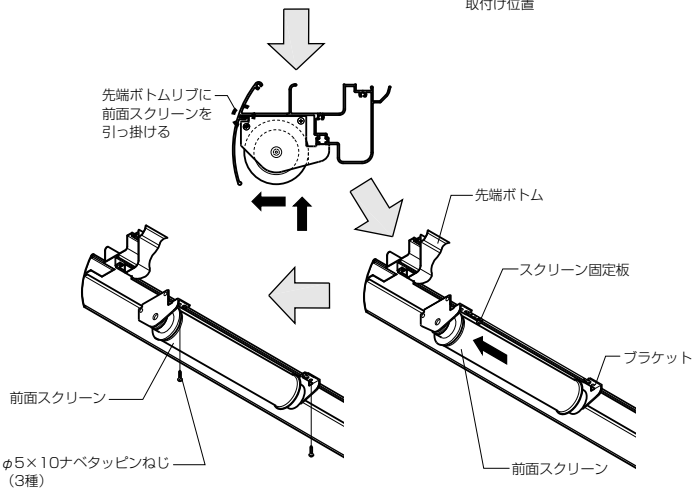
1 前面スクリーンの取付け

・先端ボトムの切欠きから、スクリーン固定裏板を差し込みます。(前面スクリーン1本に対し2個使用します。)
・図に示す位置にφ5×10ナベタッピンねじ (3種) を仮止めします。
・先端ボトムのリブに前面スクリーンを引っ掛け、スクリーンブラケットにスクリーン固定裏板に仮止めしたねじをはめ込みます。
・スクリーン固定裏板のもう一方の穴にφ5×10ナベタッピンねじ (3種) をねじ込み、仮止めのねじを本締めします。

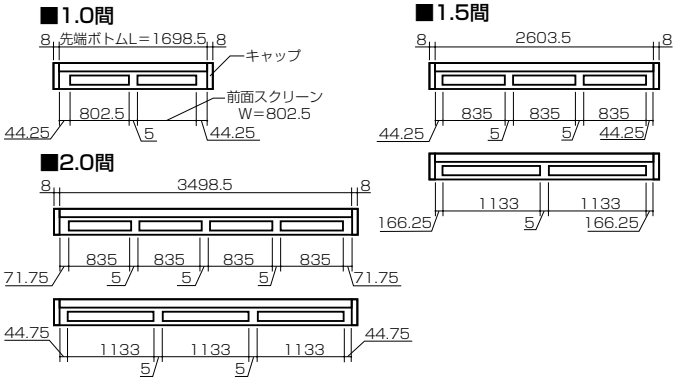




●の位置にφ5×10ナベタッピンねじ (3種) を仮止めします。

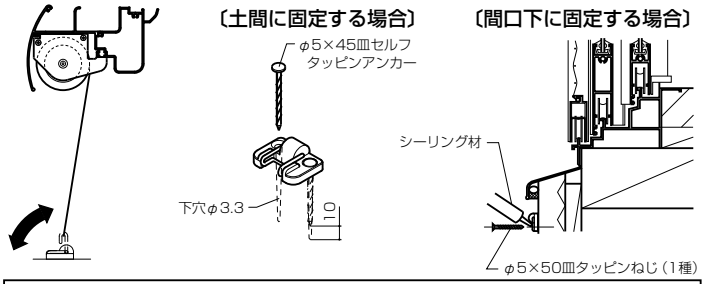


※前面スクリーンの割り付け図



2 フック金具の取付け

・前面スクリーンフック金具を土間又は、開口部の下に取り付けます。

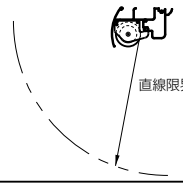


※スクリーン取付け制限

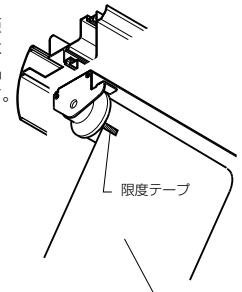
(単位mm)

スクリーンL	直線限界
2500	2350
3000	2800

・直線限界を超える距離での固定は行わないでください。製品破損につながります。

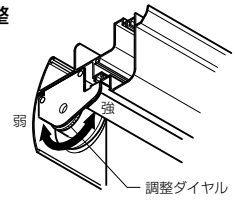


生地をピンと張った状態で限度テープが見える距離



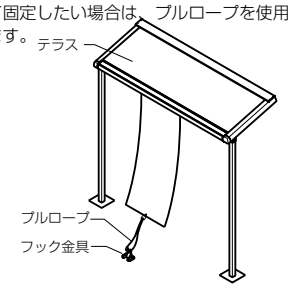
3 スクリーン巻き上げテンションの調整

●巻き上げテンションを調整する場合は、調整ダイヤルを回します。
「強」方向→巻き上げ力が強くなります。
「弱」方向→巻き上げ力が弱くなります。

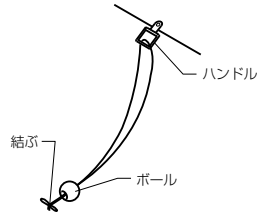


4 プルロープの使用

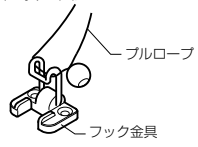
●土間フック仕様等でスクリーンを途中で止めて固定したい場合は、プルロープを使用します。



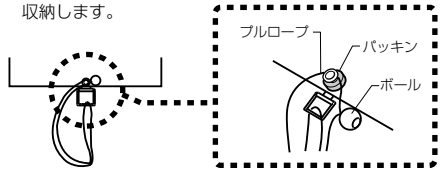
●プルロープをお好みの長さにカッカットし、ハンドル、ボールに通して結びます。



●固定する時は、フック金具に引っ掛け固定します。

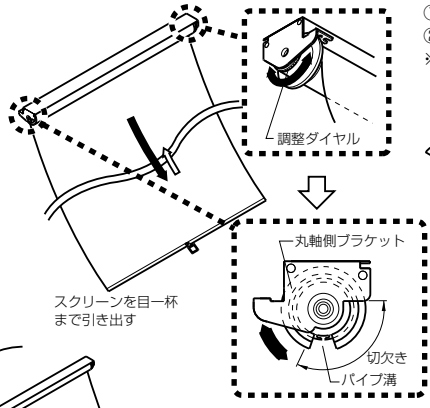


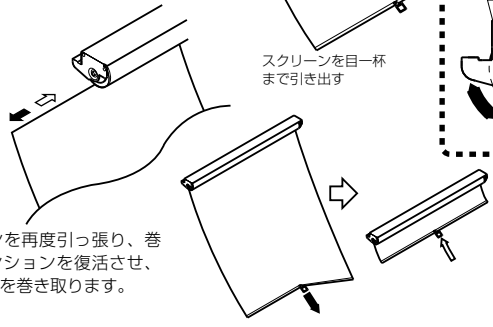
●収納する時は、スクリーンパッキンに引っ掛け収納します。



■スクリーンの交換方法

①スクリーンを目一杯まで引き出し、巻き取りテンションを解除します。
②調整ダイヤルを回し、スクリーンの巻き取りパイプ溝が丸軸側ブラケットの切欠きの位置にくるように調整します。
③スクリーンを横からスライドして引き出し、新しいスクリーンと交換します。

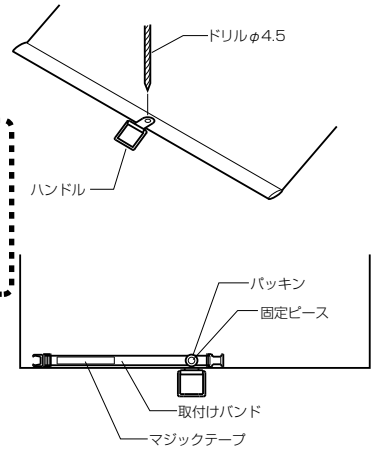


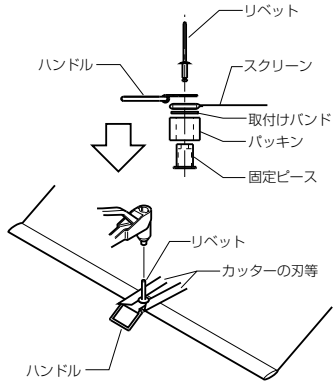


④スクリーンを再度引っ張り、巻き取りテンションを復活させ、スクリーンを巻き取ります。

■取付けバンドの交換方法

①ハンドルをとめているリベットをφ4.5のドリルで穴をあけて外します。
②取付けバンドを交換し、φ4.8リベットで固定します。
※ 固定する際は、リベットの頭にカッター等の刃をはさんで行ってください。





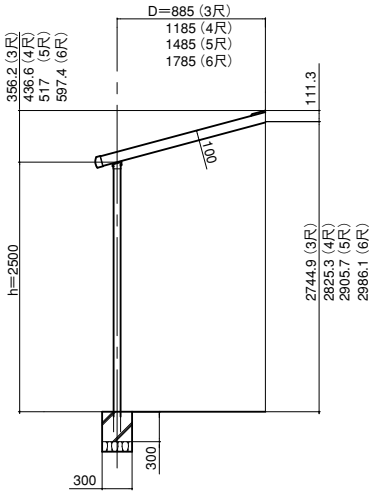
※リベットの頭の下にカッター等の刃をはさみ、リベット止めする。

■参考納まり図

姿図

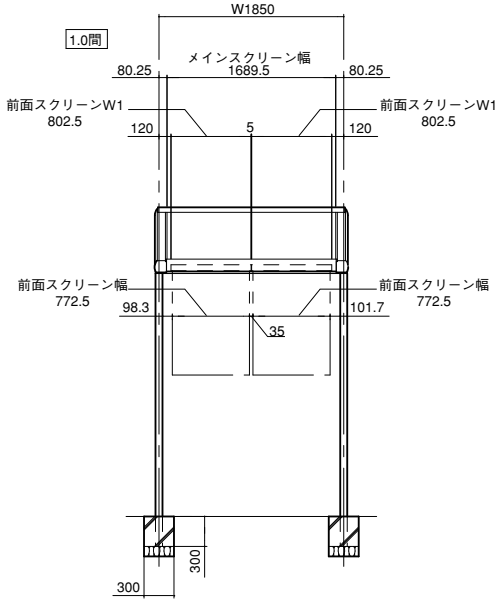
●側面姿図

3～6尺（テラス）

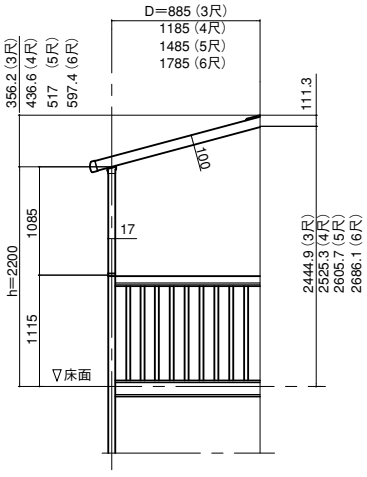


●正面姿図

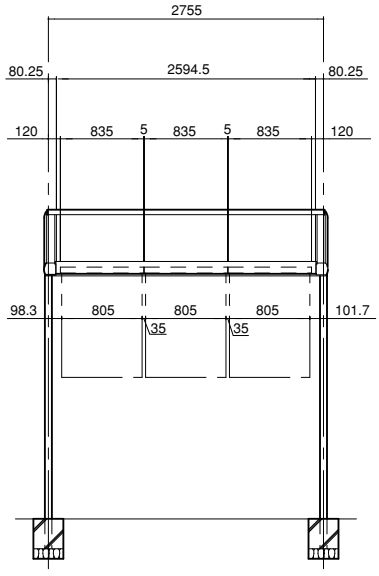
1.0間



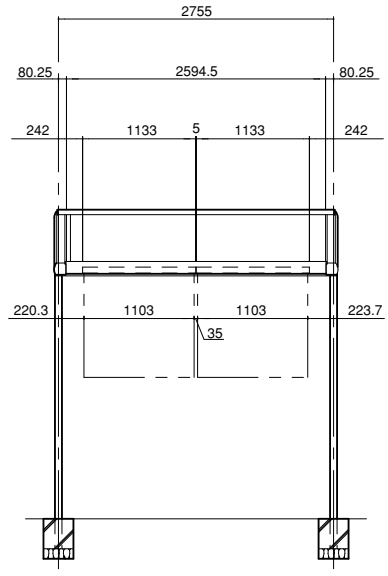
3～6尺（屋根）



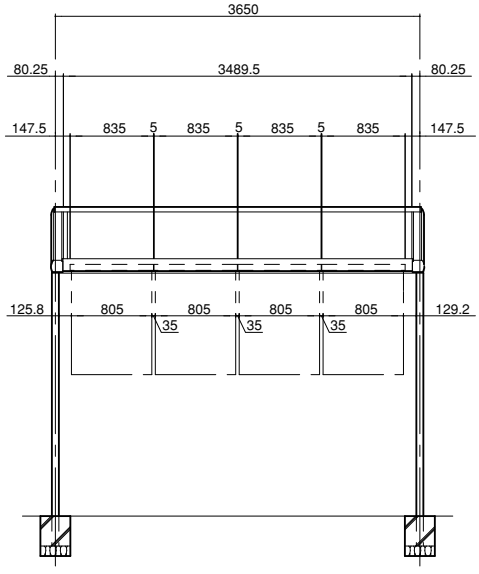
1.5間



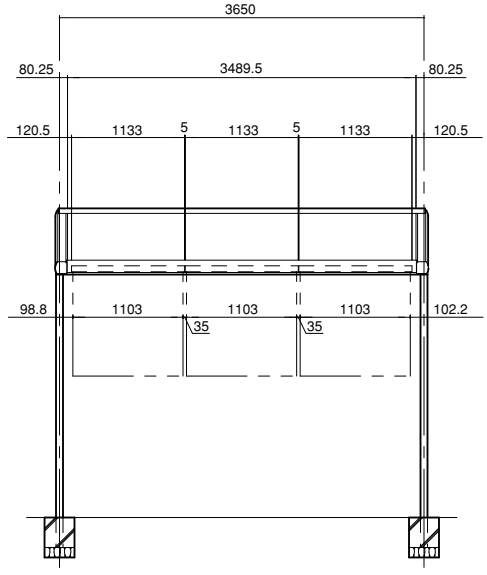
1.5間



2.0間



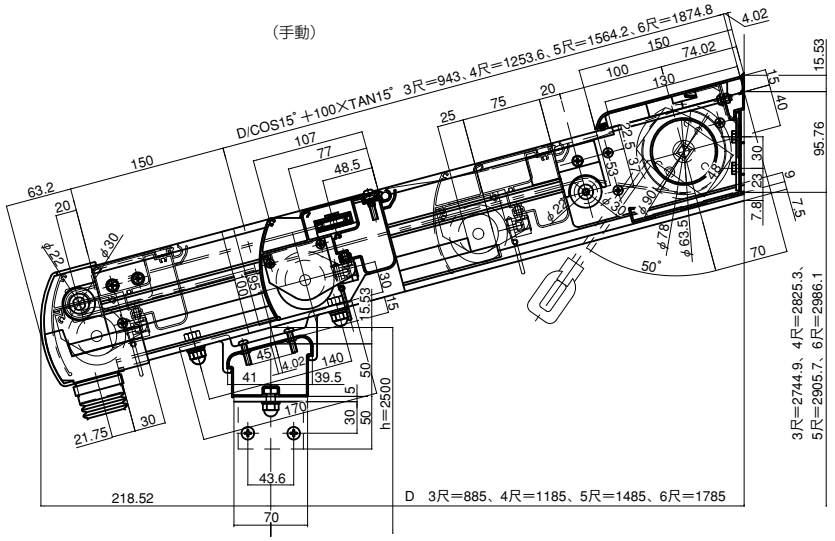
2.0間

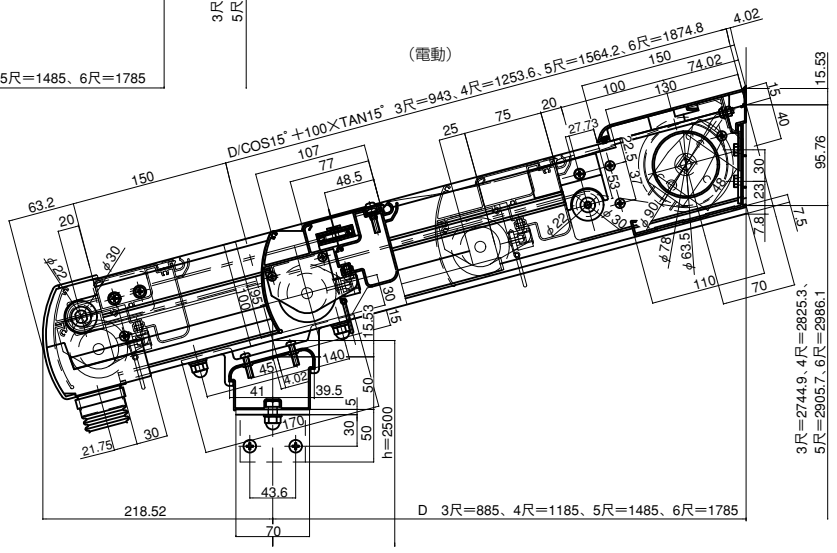
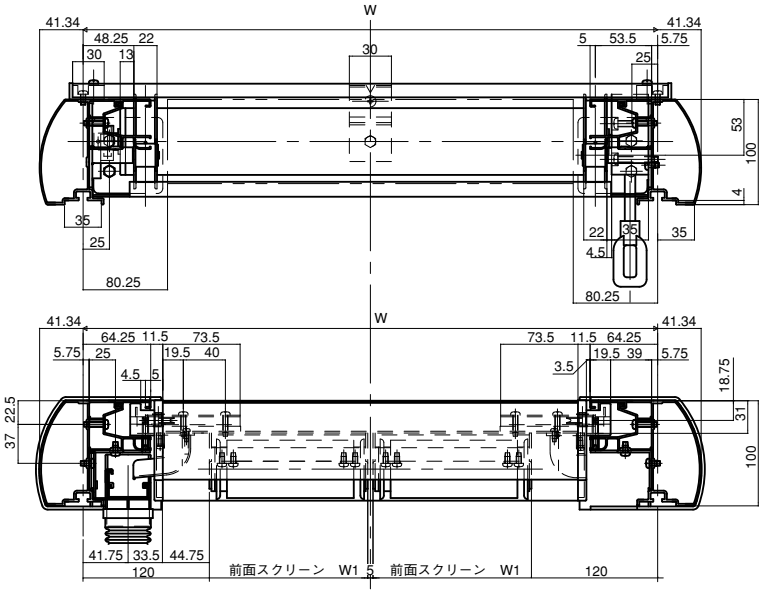
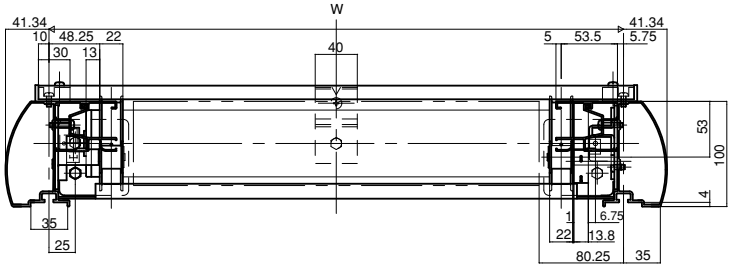


■参考納まり図

姿図

●縦断面基本図





●正面縦断面図